



2017 | Winter



自動車整備の最新がわかる ANZEN NEWS

CHARGE

VOL. 74

01 創業精神を振り返り、技術・サービス・組織力の強化を図る

02 ユーザーズレポート

02 | **小型車** 石川トヨタ自動車株式会社 BPセンター

04 | **大型車** 愛知日野自動車株式会社 岡崎営業所

06 | **サービス** トヨタカローラ京都株式会社

08 新商品のご紹介



TOP MESSAGE

想いと技術を次世代へ継承し、お客様に信頼と安心をご提供する企業を目指してまいります

企業理念

交通報國

商品やサービスの提供を通じてクルマ社会の品質向上、交通安全や地球環境の保全に貢献いたします

新年あけましておめでとうございます。昨年も多くのお客様よりご愛顧いただいたことに感謝申し上げます。弊社はあと1年で創立100周年を迎えます。創業精神を振り返り、100周年を一つの通過点として我々世代から次世代へ、想いや技術を引き継いでいかなければならないと改めて感じています。

2017年の自動車業界は直近の節目となる2020年に向けて、新エネルギー車、自動運転などの技術開発がさらに進み、それに伴って市場が活性化していくことが期待されます。弊社といたしましては、本年も“技術力”と“サービス力”をもって、よりお客様に喜んでいただける活動ができるよう心がけてまいります。

これからもご指導ご鞭撻を賜り、ご期待に沿えるよう社員一同全力を注いでいく所存でございます。本年も皆様の益々のご健勝ご活躍をお祈り申し上げます。

代表取締役社長 中谷 宗平



営業担当者の声

石川トヨタBPセンター様は、钣金・塗装作業を内製化し、全13拠点を一括で処理しており、絶えず稼働している工場です。

今回、既存機器からレイアウトの変更で作業効率、生産性、安全衛生を大幅に見直しました。今後もより一層強力な信頼関係を構築出来るように努めてまいります。
(金沢営業所 石畠)



左：南課長代理 右：石畠

習熟度に成果・品質が左右されるため、人材育成にも力を入れる同センター。極力パーツ交換に頼らず直せるものは直すことで、経験を重ねスキルアップに繋がっています。

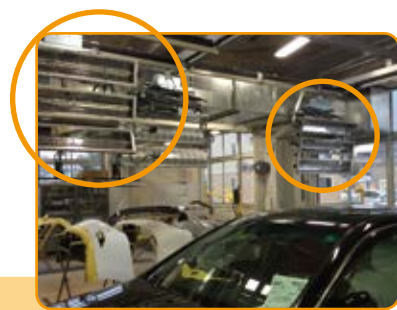
「外部のものを含め、店舗の見学や研修、大会には積極的に参加をしていますし、昨年から初代クラウンのレストア作業でさらにレベルアップ出来ました」(南課長代理)。

「エンジニアの技術力向上はもちろん、外部の取り組みを見てもらうことでモチベーション向上に繋がればと考えています」(曾明常務)。

少子高齢化により人材不足が懸念される中、販売店側はBPの内製化により一層力を入れなければならない時代がくると曾明常務は予想しています。「自動運転をはじめ、車両技術がますます高度化していく中で、修理をする側も同じく高度な技術を磨かなければなりません」(曾明常務)。エンジニアが活躍できる環境を整えることが、お客様に満足して頂けるサービス品質のさらなる向上に繋がっています。

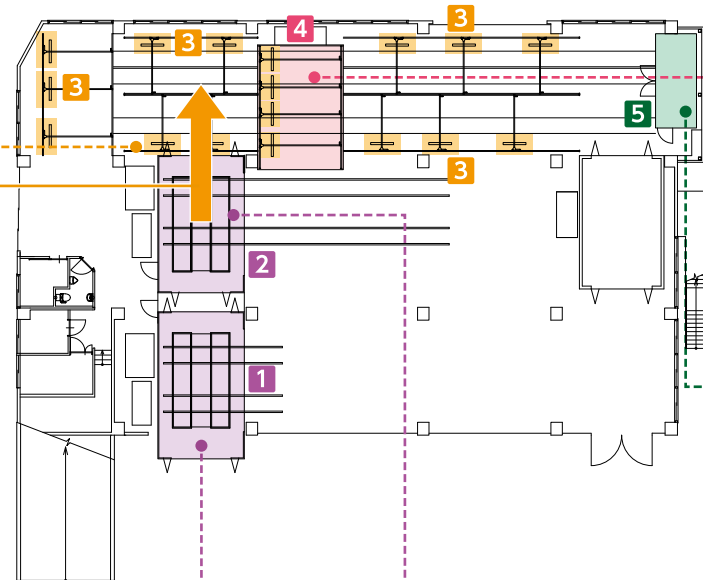


▲ペインターのリーダー
かつトヨタサービス技能コンクールで優勝経験のある福富さん



天井吊下式乾燥機

水性塗料の乾燥時間短縮のため、塗装ブースで乾燥した後、天井吊下式乾燥機による追加乾燥を行います。塗装ブース使用後、車両を前方に移動させることで追加乾燥に進むことができ、スペースと時間を有効活用できます。



パーツ塗装ブース



調色ブース



塗装ブース

敢えて大きさの異なる塗装ブースを2台導入し、作業内容によって使い分けをしています。この塗装ブースは大きさの異なる2つのブースを連なるようにレイアウトし、仕切り扉を開けることでマイクロバスまでカバーします。

- 1 塗装ブース (W4540×D7200×H3650)
- 2 塗装ブース (W4540×D7720×H3800)
- 3 天井吊下式乾燥機
- 4 パーツ塗装ブース
- 5 調色ブース



掲載機器の詳細カタログはこちら

石川トヨタ自動車株式会社の社員は269名(エンジニア128名)で、営業拠点は11店舗。レクサス店とDUO店を合わせ、13店舗になります。今回お伺いした石川トヨタ自動車株式会社BPセンターは、全13店舗から集まる全車両の修理・塗装を一手に担う同社唯一のBPセンターです。

●店舗情報

石川トヨタ自動車株式会社
BPセンター
石川県金沢市御影町3-1
TEL：076-245-2814
従業員数：20名
(エンジニア16名)



●今回お話を伺った方



常務取締役
サービス部長
曾明 時正 様



経営企画部
課長代理
南 史浩 様

全店舗の钣金修理を一手に担う、完全水性塗料導入のBPセンター

2016年9月にリニューアルした同センターには全店舗での入庫約280台の内、90%以上を外注せず自社で請け負っています。

内製化を進めた経緯については、「愛車をお預けいただけたいということは、いわばお客様からの信頼の証です。当社を信じてご依頼していただいた以上、最後まで責任を持って対応させていただきたい。それが当社の方針です」と、曾明常務。

水性塗料で作業環境にも地球環境にも優しく

同センターの使用塗料は全て水性塗料です。臭いがほとんどなく、溶剤塗料と比べ、エンジニアにも地球環境にも優しい水性塗料です。10年前の塗料や機器では難しい技術でしたが、近年の塗料や器具の進歩で使用が

「購入の決め手は、現状の作業内容と入庫状況を踏まえてレイアウト、作業効率向上策など様々な提案とアドバイスをいただいたからです。既存の工場に新規で塗装ブースを入れたのですが、一番適切なやり方を提案してくれたと思います」(南課長代理)。

全国コンクールで上位入賞を果たす技術力と人材育成

同センターの技術力は高く評価されており、全国トヨタ店のサービス技能コンクールでは、今年サービス技能コンクールボディー競技において全国大会への出場を決めています。全国のトヨタ販売店で調査している、サービス入庫におけるBP受け入れ率のランキングでは7位の実績を誇り、エンジニアの技術力の高さを窺い知ることができます。

BPはエンジニアの感覚や器用さ、

BPセンター

石川トヨタ自動車株式会社

愛知日野自動車株式会社

岡崎営業所



愛知県全域を商圏とし、8拠点の事業所を構える愛知日野自動車株式会社。2年弱の歳月をかけて敷地を拡充し、E S 向上に寄与する設備を導入した岡崎営業所が、2016年3月、満を持してオープンしました。

●店舗情報
愛知日野自動車株式会社
岡崎営業所
愛知県安城市柿碓町猪ノ背51-1
TEL：0566-97-8751
従業員数：43名
(メカニック21名)



●今回お話を伺った方



所長
成瀬 宏 様



整備チームリーダー
課長格
浅川 紳治 様

魅力のある職場環境へ。 整備工場を一新し、安定的な人“財”確保を目指す

愛知日野自動車株式会社は、販売だけに留まらない、トータルサポートをお客様に提供しています。同社の入庫台数うち約15%を担う岡崎営業所。「人とモノを大切に」という理念のもと作業環境の改善に注力し、最新鋭機器を導入した同営業所の整備工場を訪問しました。

工場面積を拡充し、高効率化に寄与する設備を新規導入

整備工場は一般整備用（4ストール）と車検整備用（3ストール）に分かれており、別棟に完成検査場、洗車場、板金ストールを設けています。様々な整備を行う一般整備ストールは、車両が通り抜けできるスルーフ方式を採用。「安全性や作業性に配慮したレイアウトだと思っています。基本的には一方通行で整備を行いますの

で、その点では便利です（浅川チームリーダー）。同ストールには天井走行クレーンを設置し、分解・加工・洗浄場までが繋がっています。この動線を考慮し、自立式リール架台を設置。架台には上部から照射するLED照明が設置され、明るい作業環境を確保しています。

リフトは2柱式ツインパワーリフトを初導入。エンジン脱着やオーバーホールなど、主に重整備に使用しています。2分割フロアリフトについては「入庫量が増えるストール不足になることがあります、その点、2分割フロアリフトは2台の縦列作業を行うことができ、とても便利です。時間削減に繋がっています」と、浅川チームリーダー。他営業所から入庫車両を受け入れていることもあり、多くの車検整備を行う車検整備ストールには2柱式ツインパワーリフトを3基設置。任意の場所へ移動できる回転式工具ボードやタイヤへの位置決めが容易な「レール式ホイールドローリー」など、作業効率を重視した機器を多数導入しています。

一人一人の負担を減らし、皆が働きやすい環境を創出

同営業所は、労働環境を改善する設備を導入したことでメカニックの残業時間が減少しています。その分他営業所から入庫車両を引き受けるなど、各拠点の入庫数を調整し平均化することで負担を減らすよう協力体制を整えています。現在、愛知日野自動車の総社員数は約400名。内、岡崎営業所には43名が所属しています。

「最新鋭機器の導入により、営業所としての効率アップと残業削減を図りながら、他拠点の入庫車両も引き受けて拠点間の仕事量平準化に繋がりたいと考えています。また、作業のオン・オフを明確にして働きやすい環境づくりに注力し、メカニックの人材確保のさらなる安定化を図ると共に、お客様により良いサービスをご提供し続けるよう、努力します」（成瀬所長）。

営業担当者の声

愛知日野自動車様の整備作業はオペレーションが確立されており、特に満車時の車検整備は圧巻です。今回効率と安全性を重視し採用された、通り抜けができるスルーフ方式のレイアウトの作業効率をより高められるよう、先鋭設備のご提案をさせていただきました。今後もご期待にお応えできるよう、アフターサービスを含め、皆様のサポートに努めてまいります。（名古屋支店 矢口）



左：浅川チームリーダー 右：矢口



▲2柱式“ツインパワーリフト”を縦列で2基設置し、1ストールを有効活用



▲エンジンやミッション脱着に加え、トラクター上板の取り外しなどに活用されている天井走行クレーン



▲“ツインパワーリフト”には下部照明を敷設。自立式リール架台にもLED照明が設置されている為、上部・下部から手元を明るく照射



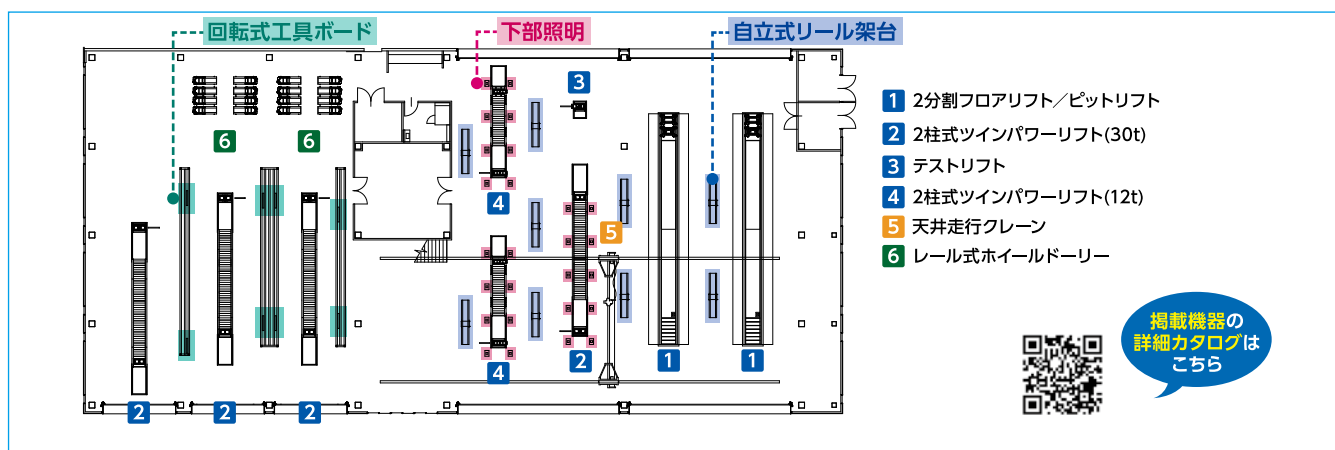
▼“2分割フロアリフト”はマグネットで取り外しのできる脱落防止ボールを設置し、安全性に配慮



▲車検整備用の各ストールに設置された工具ボード。回転式のため、隣接するストール間での併用が可能



◀キャスター式に比べ位置決めがしやすく、効率化に貢献する“レール式ホイールドローリー”



トヨタカローラ京都株式会社



※写真は西ノ京総合テクノセンター

1961年の設立以来、顧客満足（CS）だけでなく従業員満足（ES）も重視し、社内外ともに安心と信頼を築いてきたトヨタカローラ京都株式会社。企業理念として掲げている【5つの和】の中でも、メーカーとの和、地域との和、お客様との和を築いていくことを最優先に、社員同士のチームワークを高め、「顧客満足で京都NO.1のカーディーラー」を目指しています。

● 会社情報

トヨタカローラ京都株式会社

本社：京都府京都市中京区西ノ京南大炊御門町1-1

TEL：075-463-1111

取材場所：西ノ京総合テクノセンター 京都府京都市中京区西ノ京塚本町16-10

TEL：075-802-1151

従業員数：393名 20店舗（うちマイカーセンター2店舗）

● 今回お話を伺った方

サービス部 部長

了源 徹 様（左）

サービス部 技術課 課長

野田 健司 様（中央）

サービス部 業務課 課長

上谷 壮一 様（右）



車検機器の校正前点検、リフトの保守点検。 全店舗の整備機器のアフターサービスを 委託し、安全管理を徹底



今回訪問したトヨタカローラ京都様では、全店舗の整備機器のアフターサービスを当社に委託し、定期メンテナンスを実施しています。2012年の運用スタートから5年。長期に渡り定期メンテナンスを展開している同社に、これまでの経緯や現状についてお話を伺いました。

― 定期メンテナンスに力を入れ始めた経緯についてお聞かせください

了源部長 不具合によって日常業務にできるだけ支障が及ばないよう、万全を尽くしておくということが根幹にあります。日々使用する機器の状態を整えることがメカニックにとって安心できる職場となり、最終的にはお客様にご迷惑をかけることにつながります。

以前は故障が発生してから対応をしていましたが、予測できない修理は高額費用になり、稟議を上げにくいこともありました。メンテナンスにかかる年間費用を予め確保しておくことで、本部も対応がしやすくなります。

予防整備を行うことで現場の負担も軽減していますし、定期点検が結果的に不要な修理コストを抑えますので、役員も予防整備のための支出については理解を示してくれています。

― 定期メンテナンスはどのような内容を
実施されていますか

野田課長 車検機器は校正前点検をお願いしています。一般社団法人日本自動車機械工具協会の校正検査時に万が一トラブルがあれば車検を止めることになり、お客様にご迷惑をおかけすることになります。

現在は、機器の精度を事前にANZENさんにチェックしてもらっているのので、安心して校正検査を受けることができますね。

上谷課長 リフトは一番事故のリスク

が高いので、やはりプロに見てもらったことが重要だと思っています。ワイヤーの磨耗状態から不具合を判断するなど、自分達では難しいですし、リフトは年に1回保守点検を行っています。

定期メンテナンスを実施するようになってから、消耗品である受けゴムも今では頻繁に交換するようになりました。

― 自社で実施している安全教育や点検
内容などがありますか

野田課長 各店舗、機器ごとに担当責任者をつけて管理しています。

始業前に目視によるチェック、異音の有無の確認を行い、安全作業の意識付けを徹底しています。コンプレッサーも常にオイルのチェックをして、半年に1回オイル交換を実施しています。

― 1社（ANZEN）に定期メンテナンスを
任せることについて、どのようにお考えですか

了源部長 たとえANZENさんの機器

でなくても、他社製品の診断・メンテナンスも製品知識を持っているので安心して任せられますね。各店舗のメカニックとも顔馴染みになって、お互いに良い関係が出来ているのではないのでしょうか。

野田課長 点検はその場で効果が出るわかりやすいものではありません。

機器を普通に使うことが当たり前前と違うのではなく、点検をやっておいて良かったという積み重ねを、現場が知ってくれればいいですね。

サービス営業の声

トヨタカローラ京都様は、どの店舗の方々もメンテナンスに協力的で、訪問した際にも気さくに接してください、とてもありがたいです。今後も継続して機器を診させていただき、何かトラブルがあった際にはすぐに対応できるよう、支店内の連携も強化していきます。（大阪支店 兼子）



左：野田課長、右：兼子

■ 2柱リフトの保守点検風景

リフトの保守点検は、「自動車整備リフト点検表」に基づいて行います。点検項目は、メーカーが定めた基準よりも多く、当社基準でさらに厳しく設定しています。



安全装置の動作確認

- ✓ アーム触れ止め装置が正常に機能しているか
- ✓ 下限位置にてスムーズにアームが旋回しているか
- ⚠ 安全装置が動かずに車両が落下してしまう恐れがあります



チェーンの状態確認

- ✓ チェーンに磨耗・固着がないか
- ⚠ チェーンが正常に作動しないと安全装置が作動せず落車事故につながる恐れがあります



異音の有無

- ✓ 上昇時、下降時に異常な音がないか
- ✓ スムーズに上昇・下降しているか
- ⚠ 異常があるとリフトの作動不良につながり危険です



自然降下量の測定

- ✓ 自然降下量を測定。3分間の降下量が0.3mm以内に収まっているか（社内基準）
- ⚠ シリンダー各所のオイル漏れ、パッキンに損傷があると昇降操作に影響があります



受台ゴムの状態確認

- ✓ 受台ゴムに劣化・損傷はないか
- ⚠ 受台は荷重のかかる箇所が偏磨耗しやすく、使用過程において劣化するため定期交換が必要です



ベース固定ボルト・アンカーボルト確認

- ✓ ベース固定ボルト・アンカーボルトに緩みがないか
- ✓ ポストに傾きなど異常がないか
- ⚠ リフトが倒れ事故につながる可能性があります



■ 車検機器の校正前点検



機器の指示精度を確認

- ✓ 精度が正確に維持されているか
- ✓ 指示値に対する誤差が基準範囲内か
- ⚠ 校正検査時に不具合が発見された場合、車検業務に支障を来す場合があります



定期的な「保守点検」と「予防整備」により、整備機器の不具合ゼロを目指しましょう！



NEW

新商品紹介

新発売

モバイルコラムリフト

MCO86

小型～中・大型
トラック・バスまで対応能力
8.6t/コラム揚程
1.7m

- フラットなストールがあればどこでも使用可能! 設置・ビット工事が不要な移動式リフト
- 車両下部塗装、溶接、重整備など幅広い整備に対応します
- 各コラムは無線通信で同期され、バッテリー駆動のため配線が不要。作業スペースを広く確保します



新発売

ドライブオンリフト



KAR200 / 250

小型～中・大型
トラック・バスまで対応能力
20t/25tデッキ長さ
9m*

- 車両を乗り入れるだけで、クイックにリフトアップ。様々な整備に活躍します
- ビット工事ができない工場も使用可能! 基礎工事が不要なため、高コストパフォーマンスを実現(床上式)
- オプションのフラットキットでフラット化が可能! 作業性と安全性向上に貢献(ビット式)

※10m、11mにも対応可能です

新発売

タッテラー S

乗用車～
中型トラック・
バスまで対応能力
200kg

TH200-SW

- 立ったままの楽な姿勢で安全・快適・スピーディーにホイールを脱着! 効率化と負担軽減に貢献するハイリフトホイールドリーの新モデル
- 1台でシングルタイヤ2本を搭載できる機能を追加。リヤダブルタイヤの分離脱着における作業効率がさらにアップ

ANZEN
安全自動車株式会社

 〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25
 TEL(03)5441-3412 FAX(03)5441-8848
 ANZENホームページ <http://www.anzen.co.jp>

札幌支店 札幌市中央区南19条西8-2-21 TEL(011)511-6241(代)

釧路営業所 釧路市中央2-2-1 TEL(0154)24-0161(代)

仙台支店 仙台市宮城野区日の出町2-2-8 TEL(019)637-8711(代)

盛岡営業所 盛岡市水川町2-8-31 TEL(029)241-0932(代)

関東支店 戸田市氷川町2-8-31 TEL(025)274-7131(代)

水戸営業所 水戸市水戸2-2-1 TEL(029)241-0932(代)

新潟営業所 新潟市中央区西1-1-1 TEL(025)274-7131(代)

東京支店 東京都港区芝浦4-16-25 TEL(03)5441-3413(代)

千葉営業所 千葉市中央区金町5-12-3 TEL(043)284-2600(代)

名古屋支店 名古屋市中区金山5-12-3 TEL(076)248-0499(代)

金沢営業所 金沢市西堀川2-1-14 TEL(076)248-0499(代)

大阪支店 大阪市西淀川区御幣島2-1-14 TEL(086)434-0259(代)

岡山営業所 岡山市東区多の津3-7-7 TEL(087)843-6531(代)

高松営業所 高松市東区多の津3-7-7 TEL(087)843-6531(代)

福岡支店 福岡市東区多の津3-7-7 TEL(096)370-7011(代)

南九州営業所 松本市大村383-11 TEL(096)370-7011(代)

(株)松本安全 松本市大村383-11 TEL(0263)45-2181(代)

郡山営業所 TEL(022)236-1211(代)

宇都宮営業所 TEL(024)942-5311(代)

高崎出張所 TEL(048)447-6881(代)

宇都宮営業所 TEL(028)635-8821(代)

高崎出張所 TEL(027)384-3001(代)

横浜営業所 TEL(03)5441-3413(代)

横濱営業所 TEL(045)391-9913(代)

静岡営業所 TEL(052)871-1811(代)

静岡営業所 TEL(054)236-5066(代)

広島営業所 TEL(06)6472-0361(代)

広島営業所 TEL(082)832-3630(代)

沖縄営業所 TEL(092)623-4646(代)

沖縄営業所 TEL(098)876-3873(代)

沖縄営業所 TEL(0263)45-2181(代)

保守点検のおすすめ

 ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。
 お近くの支店または営業所までお問い合わせください。

ANZENカスタマーサービス

0120-01-6361

 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記へ。
 受付時間:月～金(AM9:00～PM5:00)

ANZEN

で

検索

<http://www.anzen.co.jp>

- 発行所/安全自動車株式会社 マーケティング部 東京都港区芝浦4-16-25
- ANZEN NEWS CHARGE 74号(2017年1月1日発行)

※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。



UD FONT